



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

職場体験に参加して

藤岡工業高等学校 高岸 亮成



私は、令和7年11月12日（水）から14日（金）に自衛隊の就業体験に参加しました。

私は職場体験を通して、就職の視野が広がりました。就業体験を行う前は、工業高校に通っているから工業に関する仕事しか出来ないかと思っていました。が、本人の希望や適性に応じて色々な仕事で勤務できる事を知りました。

私は将来の進路について、やりたいことが見つからず職場体験先を何処にするか悩んでいました。元々、体を動かす事が好きだったので、体験先に自衛隊を選択しました。

自衛隊は全体的に体を動かす職業だと思っていました。意外にも事務的な作業もたくさんあり、とても面白い職業だと思いました。

自衛隊は多くの職種があり、自己完結できる組織です。車両等の整備を通じて「車両整備の資格」隊員の食事を作ったり「栄養士の資格」など「自分のやりたい仕事をして資格も取得することが出来ます」との説明を受けました。

また、「訓練はとも大変ですが訓練のおかげで人々を助けることができ、その人や友人・家族の方からお礼を言ってもらった時に一番やりがいを感じた。」という話を聞かせてもらい、とても感動しました。

今回の職場体験で仕事を調べたい欲が湧きました。これからたくさんの仕事を調べるつもりです。自分なりに頑張りたいと思います。

職場体験に参加して

藤岡工業高等学校 山本 敦己



私は、令和7年11月12日（水）から14日（金）に自衛隊の職場体験に参加しました。

職場体験では、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊と、それぞれの仕事を1日目は航空自衛隊新潟救難隊の装備品の展示や仕事について説明をしてもらいました。また、体験では実際のヘリコプターの座席に座ることが出来ました。

2日目の陸上自衛隊相馬原駐屯地で、飛行場の陸上自衛隊横須賀教育隊で、小切手の作成等、様々な体験をする機会が生まれました。

3日目は海上自衛隊横須賀教育隊で、オールの使用や船を漕ぐ体験をさせてもらいました。体験を通じて、船を漕ぐことには驚きました。

モヤモヤが一つも残らなくなりました。

僕も小さい頃、人の命を救う仕事に興味を持ちました。今回の職場体験で、実際に人の命を救ってきた方々の話を聞きました。人の命を救う責任感や緊張感がある職業だと改めて感じました。

その中でも誰かに感謝されたくて、感謝状を書きました。お礼の言葉にと、感謝状を書きました。

感動を受けて、「暮らさなくとも、感謝状を書きました。」という言葉を聞きました。

とても良い意味で友達のような関係性がとれました。

このように、色々な体験を通して、大人の方には感謝の気持ちを伝えたいと思います。

職場体験に参加して

藤岡工業高等学校 堀川 めい



私は、令和7年11月12日（水）から14日（金）に自衛隊の職場体験に参加しました。

1日目の航空自衛隊新潟救難隊では、救難団（PJ）の仕事について学びました。海や山で遭難した人を助ける仕事で、ヘリコプターに乗って現場に行き、遭難者の救助を行います。救助した方から感謝されるやりのある仕事であると思いました。また、お昼のカレーはあさがりが入っていて、とても美味しかったです。

2日目の陸上自衛隊相馬原駐屯地では、第12ヘリコプター隊がチヌークの整備をしているところを見学しました。CH-47JとJAでは航続距離が倍以上違うことを知りました。第406会計隊には、自衛官の給料の計算や各部隊に何が必要でどのくらいお金が必要なのか計算する緑の下の仕事をしている隊員さんがいました。「体力が無くても大丈夫ですよ。」という話も聞くことが出来ました。

3日目の海上自衛隊横須賀教育隊では、応急訓練を見学しました。応急訓練とは、船などで火災が起きたと想定して消火する訓練でした。火の勢いが強くとも驚きませんでした。

職場体験では陸上・海上・航空自衛隊の様々な仕事を見学・体験することです。今後の進路選択の良い体験となりました。